

「日露関係写真展」(説明書2(2))の実施に関する参考情報

モスクワでの展示会場を「リュミエール兄弟写真センター」、サンクトペテルブルクでの展示会場を「ロスフォト」とする場合、主に以下のような条件を確保することが期待されます。ただし、これらの展示会場との今後の調整により、変更があり得ます。

なお、以下の金額は、在ロシア日本国大使館又は在サンクトペテルブルク総領事館からリュミエール兄弟写真センター又はロスフォトに対し、これらの展示場と直接契約することを想定して価格の目安を照会したところ、先方から提示された目安額(税抜き)となります。いずれも、目安として記述したものであり、これらの展示会場との今後の調整により、変更があり得る点に留意していただくようお願いします。

1. モスクワ及びサンクトペテルブルク共通

(1) 展示物の収集

写真の使用料については、日本側協力団体からは大半が無償での提供を予定しているが(ただし、一部有料となる可能性がある。)、リュミエール兄弟写真センターからは、最大で約60万ルーブルとの金額が示されている。ただし、ロシア側提供の写真は最大でも全体の2割程度を見込んでおり、実際の展示作品を選ぶ過程において調整することとなる。

(2) 展示物の作成等

- ・ロシア側における展示物の検索・選択 15万ルーブル
- ・スキャン、ネガのレタッチ 16万ルーブル
- ・展示写真のデザイン及び印刷(100枚程度の展示として、デザイン費が25万ルーブル、見本刷りの製版が5万ルーブル、印刷が5万ルーブル)
- ・展示物の一時保管・輸送(印刷所→リュミエール兄弟写真センター→(一時保管)→サンクトペテルブルク・ロスフォト→在ロシア大使館)
- ・監修者への謝礼(5万円×日本側2名、ロシア側1名を目安とする)

(3) 広報宣伝

- ・パンフレットの作成(カラー10ページ前後、5千部程度を想定しているが、事業全体の経費を踏まえて決定)
- ・ポスター、チラシ、SNS その他の広告の実施

2. モスクワ・リュミエール兄弟写真センターでの実施

(1) 展示会場の借上げ(下記注参照)

(2) 写真展の構成・コンセプトづくり(10万ルーブル)

(3) キャプションの制作・印刷(12万ルーブル)

(4) 展示のデザイン(15万ルーブル+材料費10万ルーブル)

- (5) 展示会場の設営・解体(6万ルーブル)
- (6) その他必要な人件費の支払い(8万ルーブル)
- (7) 開会式イベントの実施(フルシェット形式)(34万2千ルーブル)

※上記の費用には、リュミエール兄弟写真センターのキュレーターへの謝礼を含む。

(注)リュミエール兄弟写真センターは、3つの展示場で構成され、入場料を徴収(430ルーブル)しているが、入場チケットは3つの展示場全てに対するものであり、切り分けることはできない由。一方、会場レイアウト、展示物のサイズ設定を始めとするデザイン等をリュミエールに直接委託する場合は、会場借料は徴収しないとの説明を受けている。

3. サンクトペテルブルク・ロスフォトでの実施

- (1) 会場の借上げ(下記注参照)
- (2) キャプションの制作・印刷(1万3千ルーブル)
- (3) 展示会場の設営・解体(下記注参照)
- (4) その他必要な人件費の支払い(下記注参照)
- (5) 開会式イベントの実施(フルシェット形式)(4万ルーブル)

※上記の費用には、ロスフォトのキュレーターへの謝礼を含む。

(注)ロスフォトは、現時点で、会場借料、設営・解体、その他人件費について、入場料を徴収することで賄うとしている。

以上